



ビニールマルチを使用した葉タバコ栽培

農産物の品質向上と単収引上げ技術の一環で、ポリマルチやビニールマルチの使用が定着したが、使用後の廃プラ処理は、自然環境汚染防止上、生産者の大きな負担となつて

いる。これを解決するには、環境保全型資材の導入へ転換する以外にないと思う。土壌や水質汚染を防ぐ、土壌微生物で分解消滅する天然系生分解性農用マルチが開発された。早急に実証展示圃を設けて農業の振興に努められたい。

町長 生分解マルチ資材については、具農業試験場が早くから試験をし

要と思うが、行政の対策を伺います。

さつまいもについては、農協で生産拡大の取り組みがされており、方向性を確認しながら振興を図りたい。

馬鈴薯の振興については、上場・大平地区の品質向上を図るため、種子や省力化対策等の助成を行い生産拡大に努める。



農業振興

高嶺虎男議員

生分解マルチの展示圃を
展示圃の考えはない

ており、研究データの蓄積もあり技術指導も可能なことから、町独自の展示圃は設けなくてもよいのではないかと考えています。

一般のマルチ資材と比べ、2倍から3倍の価格差があり、普及拡大の問題点となっている。農家が取り組んでみたいという動きがあれば、国の補助事業等もあり支援していく。

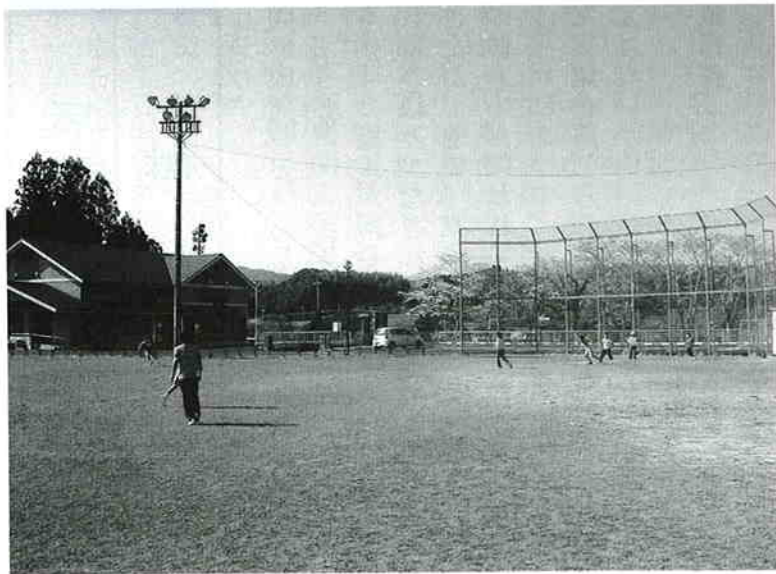


陸上競技場

下大迫幸太郎議員

整備計画は

利用しやすい施設に



利用しやすい施設としての整備が望まれる（鶴田町陸上競技場）

町長 整備計画については、厳しい財政状況もあり、学校行事の駐車場等での利用も考えた場合、町民の憩いの場として緑

地公園的なものも視野に入れながら、今後地元や関係団体等と十分検討して、利用しやすい施設にしていきたい。また、夜間に利用される団体については、紫尾の農村広場や中学校屋外運動場の照明施設を利用してもらうように今後お願いしていきたい。

一般質問

今回の一般質問は3月12日に行われ5人の議員が登壇しました。質問と答弁の要旨をお知らせします。

まちづくり

楠木園洋一議員

スロータウンの取り組みは

活用できるものを具体化



町長 以前にも多くの質問がなされたと思います。スロータウンとしての取り組み計画構想、どのような活動がなされたのか、将来のビジョンなど具体的な考えを伺いたい。

スロータウンの計画構想は、地域の農産物、伝統文化、観光資源などをアピールすることにより、ふるさと回帰の大きな吸引力を生み出すことなどを目的としており、本町の地域資源・天然資源をもう一



手漉き和紙を体験する子どもたち

簿の出版等）を実施することにしており、これらの取り組みの中から、本町に活用できるものを具体化していきたいと考えている。

度見つめ直し、取捨選択しながら取り組んでいくことにしている。温泉や手漉き和紙等の地域資源を生かした体験型観光やホテル舟の運航、グリーンツーリズム等の取り組みは、真にこのスロータウンとしての取り組みである。さらにこれを発展、充実させるとともに、新たな取り組みを先進事

例から学び、生かしていくため加入している。連盟の活動状況は、「地産地消、日本の秋大収穫祭くふるさとの味に帰ろう」という活動等ですが、これには直接参加しないで、本町なりの取り組みをしてきたところです。将来のビジョンは、スロータウン連盟が具体的な活動（シンポジウムの開催、保存・再生活動の書籍の出版等）を実施することにしており、これらの取り組みの中から、本町に活用できるものを具体化していきたいと考えている。

ここを、ただしました